

**「地域密着型金融の恒久的な取組み」
の進捗状況
(平成19年4月～20年9月)**

平成20年11月
株式会社 千葉興業銀行

当行は、平成 19 年 11 月に「地域密着型金融の恒久的な取組み」を策定・公表いたしました。地域金融機関として地域密着型金融を継続的に推進していくことが、当行の経営理念である「地域とともに、お客さまのために、親切の心で」に叶うものであるとの同計画の考え方に基づき、地域の中小企業・個人事業主及び個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、新商品の開発等サービスの向上に努めてまいりました。

具体的には下記「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」の 3 つの大項目を柱として取組んでまいりました。平成 19 年 4 月から平成 20 年 9 月までの取組み実績は以下のとおりです。

1. 地域密着型金融の取組み実績（平成 19 年 4 月～平成 20 年 9 月）

（1）ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

イ. 創業・新事業支援機能の強化

当行は、フジサンケイビジネス・アイ主催による「千葉元気印企業大賞」に共催し、千葉県内の元気な企業を発掘・紹介しております。平成 19 年 10 月に第 13 回の募集を行い、平成 20 年 2 月に元気印企業大賞の他、優秀製品・サービス賞、優秀技術賞、優秀経営賞、ベンチャー賞、地球環境貢献賞の表彰を行いました。平成 20 年 10 月からは、継続して第 14 回の「千葉元気印企業大賞」の募集を開始予定です。

その他「ベンチャークラブ千葉」「ベンチャーカップ CHIBA」等への活動に参加し、創業企業・新事業の発掘・支援に努めてまいりました。

また、千葉大学が開催する「オープンリサーチ」や千葉県中小企業団体中央会が主催する「ビジネスマッチングフォーラム in 千葉」に参加し、産業クラスター計画サポートローン等の各種サービスの紹介を行ってまいりました。

平成 20 年度上半期におきましては、千葉県が進める「ちば中小企業元気づくり基金」に参加し、中小企業の新事業支援の為に補助金制度立ち上げに協力いたしました。

ロ. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

千葉大学の TL0 会員になる事で、大学の知的保有財産の紹介やビジネスマッチング・営業斡旋活動を積極的に行った他、千葉県・ちばの「食」産業連絡協議会が主催する「ちばの恵み新発見 見本市・商談会」への参加企業の斡旋やバイヤー企業への来場誘致活動を実施しました。

また、平成 19 年 4 月に中小企業への新入社員向け「マナースクール」を開催、7 月には木更津地区におきまして楽天株式会社とタイアップした「販売力強化セミナー」を開催する等、お取引先企業の支援を強化してまいりました。

平成 20 年度上半期におきましては、関東経済産業局が進める「地域力連携拠点事業」の公募において、当行は千葉県産業振興センター、千葉商工会議所、千葉県商工会連合会のパートナー機関として申請し、認定を受けました。経営革新事業、創業支援、事業承継支援等で連携拠点と協力することで、お取引先企業の経営相談・支援機能をより強化致しました。

尚、従前からの連携先であるジェットロ等の諸団体へは引き続き、外部専門家を地元中小企業に紹介しております。また、M&A や ISO 取得等のニーズにつきましても各種専門家と連携を図り、金融面以外での経営ニーズに対し積極的に支援を実施してまいりました。

ハ. 経営改善支援・事業再生に向けた積極的な取組み

（イ）経営改善支援

昨年後半からの原材料・商品仕入れ単価の上昇及び円高・株安の進行、市況悪化による建設・不動産関連の倒産増加等、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増してきております。そのような中で当行は、お取引先企業への経営改善支援を地域金融機関として恒久的に取組むべき重点施策と認識し、経営改善計画策定支援及び経営改善に向けた助言指導、資金繰りの安定化支援等に積極的に取組んでおります。

平成 20 年度上半期は経営改善支援が必要なお取引先企業※284 先を「経営改善支援先」として選定し経営改善に取り組んだ結果、20 先の債務者区分がランクアップしております。

(選定基準見直しを実施しました平成 19 年度下半期からのランクアップ先累計は 35 先となります)

また、平成 20 年度上半期の経営改善計画策定先は 10 先 (新規計画策定 2 先、従前の計画終了に伴う再計画策定 3 先、修正計画策定 3 先、事業再生計画策定 2 先)となっております。

(平成 19 年度からの計画策定先累計は 23 先となります)

尚、経営改善計画策定支援に際しては、お取引先企業のニーズに適切にお応え出来るよう外部専門家(公認会計士・中小企業診断士・経営コンサルタント会社等)の活用を積極的に行っており、上期計画策定 10 先のうち 6 先に外部専門家が関与しております。

※「経営改善支援先」…平成 19 年度下半期に一層の効果的運営且つ取組み強化を図るため選定基準の見直しを実施し新たに 265 先(期初正常先 7 先を除き 258 先)を選定しました。更に、平成 20 年度上半期に 19 先を追加し 284 先(期初正常先 17 先を除き 267 先)を選定しております。

(ロ) 事業再生支援

組織再編・事業再構築・M&A 等の抜本的な事業再生支援が必要なお取引先企業に対しては、中小企業再生支援協議会と連携した再生支援を中心に積極的に取り組んでおります。

平成 20 年度上半期は中小企業再生支援協議会支援決定先 2 先について、官民一体型地域再生ファンドである千葉中小企業再生ファンドの活用及びコア事業の営業譲渡による事業再生を実現しております。

また、事業再生に精通したコンサルティング会社を活用し、事業の一部営業譲渡を絡めたグループ会社の組織再編・事業再構築による事業再生スキーム策定支援を実施しております。

平成 20 年度下半期においても、「地域密着型金融の恒久的な取組み」を推進し、「お取引先企業の経営課題解決に向けたサポート支援」の強化を図るべく、経営改善支援・事業再生支援に積極的に取り組んでまいります。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

イ. 中小企業再生支援協議会支援決定先を中心に、再生計画の実現性を十分検証したうえで、再生企業に対するエグジットファイナンスについて継続的に取り組んでおります。平成 20 年度上半期は、中小企業再生支援協議会支援決定先の再生スキームの中で、営業譲渡先(スポンサーが設立した新会社)に対し買取資金の資金支援を実行しております。引続き、定期的に中小企業再生支援協議会及び千葉中小企業再生ファンド運営会社との個別検討を継続しております。

ロ. 政府系金融機関との協調融資によるメザニン投融資やシンジケートローン等を活用したエグジットファイナンスについても、対象先の選定を含め継続的に取り組んでまいります。

ハ. 「再チャレンジ支援」の観点を踏まえ、信用保証制度等を活用した DIP ファイナンスへの取組みについても検討してまいりましたが、平成 20 年度上半期までは対象先がございませんでした。引続き地元中小企業を対象に取り組んでまいります。

ニ. 当行独自の融資制度であります「経営改善中小企業者向け融資制度」を活用した経営改善計画策定先の資金面のサポートについても継続的に取り組んでおります。引続き、経営改善計画策定先のモニタリングを強化し、資金面のサポートを実施してまいります。

ホ. 経営改善支援先への資金供給手法として、動産・債権譲渡担保融資についても積極的に取り組んでおり、在庫評価機関として株式会社ゴードンブラザーズジャパン、ツールバグループホールディングス株式会社と業務委託基本契約を締結しております。平成 20 年度上半期は、お取引先企業 1 社に対して、売掛金・在庫等の動産担保を活用した運転資金枠組成を実施しております。その際、在庫評価機関として株式会社ゴードンブラザーズジャパンを活用しております。

へ. 企業の売掛債権を裏づけにした債券流動化による資金供給手法を積極的に取り組んでいます。平成 20 年上半期からは、診療報酬債権流動化、調剤報酬債権流動化に加えて、手形債権流動化の取扱いも開始しております。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

イ. 当行の情報機能・ネットワークを活用した支援

(イ) 当行のお客様の会である「興友会」や若手経営者のための会である「経営塾」を通じ、お客様同士の商流発生等の側面支援を行っております。平成 19 年 4 月には「千葉興友会」を約 7 年ぶりに再開し、地域経済活性化に向けたネットワーク構築に努めてまいりました。

(ロ) 若手経営者の会である「経営塾」の塾生向け各種セミナー、勉強会を平成 19 年度は計 9 回、平成 20 年度上半期は計 5 回開催し、地域経済の発展の為に不可欠な次世代育成に努めてまいりました。中でも「オーナー中小企業経営者のためのリスクマネジメント講座」につきましては、地元学校法人である千葉商科大学との連携・ご協力を頂き、実現いたしました。

(ハ) みずほ信託銀行やみずほコーポレート銀行と連携し、手形債権流動化、診療報酬債権流動化に取り組みいたしました。また、県内 PFI 案件にみずほコーポレート銀行と連携して応募する等、みずほコーポレート銀行の持つ豊富なノウハウと当行の持つ地域情報を最大限に活用し、金融面での地域社会の活性化と環境関連事業の発展に積極的に関わってまいりました。

(ニ) 千葉県が推進する「社員いきいき！元気な会社宣言企業」の企業やその従業員に対し、各種優遇商品を提供すると共に、平成 19 年 8 月にはその従業員のお子様を対象に千葉マリーンスタジアムで「サマーキッズスクール」を開催し、お金に関する勉強の場を提供いたしました。平成 20 年 8 月には県内の小学 5.6 年生を対象に第 2 回目の「サマーキッズスクール」も開催しております。

また、地域のお客さまのライフプランニング、特に高齢者・小中学生のお子さまに対する金融知識の普及に努めております。地元の小・中学生に「銀行の仕事と役割」等を理解していただくために職場体験学習を営業店ごとに実施しており、平成 20 年度上半期までで 9 回営業店で実施いたしました。さらに、20 年度上半期につきましては、8 月に大学 12 校から合計 20 名のインターシップの受け入れを行いました。

(ホ) 中小企業再生支援協議会や千葉中小企業再生ファンドの活用による地元中小企業の再生支援に継続的に取り組んでおります。平成 20 年度上半期は、千葉中小企業再生ファンドの活用及びスポンサーへの営業譲渡等により、中小企業再生支援協議会支援決定先 2 先の再生支援を実現しております。また、平成 20 年 9 月末時点における中小企業再生支援協議会支援決定先で再生計画策定中の 2 先についても、平成 20 年度下半期中のクロージングを目指しております。新たな再生支援先の選定については、雇用の確保等の地域経済への影響を十分考慮し、中小企業再生支援協議会及び千葉中小企業再生ファンド運営会社と定期的に対象先の個別別検討を実施しております。

ロ. 地域の利用者保護の徹底と利便性向上

(イ) 顧客保護の取り組みとして、「お客さま保護等管理の基本方針」を制定し、取り組む 4 分野（商品等説明管理、お客さまサービス管理、お客さま情報管理、外部委託）に関する取決めである「商品等説明管理に関する基準」、「お客さまサービス管理に関する基準」、「情報管理に関するグループ経営管理の基本的考え方」、「外部委託取扱いに関する基準」を制定し行内に周知しております。

取り組む分野毎に管理責任者を任命し、推進する機関として「お客さま保護等管理委員会」（委員長：リスク統括部担当役員、委員：各管理責任者および担当役員・関係部室長、事務局：リスク統括部。原則 3 ヶ月に 1 回開催。）を設置し、同委員会において、各種監査・調査の結果や各種報告等の情報にもとづき、顧客保護等管理の状況について評価・検証を行い、組織横断的な議論を行ない、改善すべき点については随時対応し同委員会で進捗状況をフォローしております。

今後もお客さま保護等に関する管理態勢を一層強化し、説明義務を果たす態勢の一層の充実、お客さまから寄せられたご意見・要望・苦情への対応態勢の一層の充実、お客さま情報の管理態勢の一層の強化・充実を図ってまいります。

(ロ) 顧客保護の一環として、平成 20 年 8 月 25 日より個人顧客向けインターネットバンキングサービスの本人認証のセキュリティを強化するため携帯電話のアプリケーションを利用したワンタイムパスワードサービスを導入いたしました。

(ハ) お客さま満足度向上を目指して、「アンケート形式」による顧客満足度調査を実施し、調査結果は詳細に分析し、商品開発やサービスの改善等に反映させていただいております。今年度も引き続き平成 20 年 10 月に顧客満足度調査を実施いたします。

ハ. 地域貢献等に関する情報開示等

(イ) ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌に、当行の地域貢献活動に関する取組みについて、写真や図表等を用いて解りやすく情報開示するほか、タイムリーなホームページへの情報掲載やマスコミへのニュースリリースによりパブリシティの強化に努めております。

(ロ) 「美しい房総」写真展や千葉県に関する知識・情報をテーマとした無料公開講座コスモスセミナー、コスモスコンサートなどの文化活動、「小さな親切運動」の推進など社会奉仕活動は継続的に実施しております。これらの活動は、ディスクロージャー誌やミニ・ディスクロージャー誌に掲載するほか、ニュースリリースにより地元テレビ局や新聞等マスメディアによって報道されるなど積極的な情報開示に努めております。

平成 20 年度上半期に実施した主な地域貢献に関する取組みは以下のとおりです。

- ・ 「美しい房総」写真展の開催

- … JR千葉駅にて季節にあわせ毎月 3 点の写真を展示、当行の営業店でも随時展示しております。

- ・ コスモスコンサート

- … 平成 20 年 6 月 千葉県民の日に JR 千葉駅前広場にてミニコンサートを 15 年連続で開催いたしました。

- ・ コスモスセミナー

- … 「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに無料公開講座を開催、平成 20 年 9 月「“Chiba” ゆうゆう散歩」をテーマに開催いたしました。

- ・ 寄付活動

- … ①千葉県民間病院協会事務局の柏戸病院へ「不要衣料品」を寄贈しました。
- ②平成 20 年 7 月には岩手・宮城内陸地震被災者へ、平成 20 年 9 月には「岩田天晴君の心臓移植手術への救済」として寄付いたしました。

(ハ) 企業の社会的責任 (CSR) 及び顧客満足度 (CS) 向上の一環として、聴覚障害者や高齢者及び外国人利用者との会話を補助し各種手続き等をスムーズに行うため、顧客が絵文字を指すだけで、意思表示が可能な「コミュニケーションシート」を新たに導入いたしました。

2. 数値目標の進捗状況

取組み項目	数値目標 (平成19年4月～ 21年3月)	平成19年4月～20年9月の実績	進捗率(%)
各種ベンチャー企業の表彰制度への推薦	10社	4社	40.0
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	45回	90.0
創業・新事業支援融資	—	121件、1,377百万円	—
営業斡旋、ビジネスマッチング等の提案件数	500件以上	402件	80.4
経営改善支援取組み率(注1)	—	12.9%	—
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	20先以上	23先	115.0
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注2)	20%	13.1%	65.5
再生計画策定率(注3)	—	4.1%	—
事業再生に向けた取組み先数(注4)	10先以上	4先	40.0
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	—	「動産・債権譲渡担保融資」 …20年度上半期実行13先、 4,242百万円 「ノンリコースローン」 …同3件、350百万円 「財務制限条項活用融資」 …同7件、1,250百万円	—
千葉県が推進する「社員いきいき！元気な会社宣言企業」登録企業数増加への応援	200社増加	115社増加	57.5
インターンシップの開催	50名以上	49名	98.0
職場体験学習の開催	10回以上	9回	90.0
年金等ライフプランニング相談会参加者数	5,000名以上	3,708名	74.1

(注1) 経営改善支援取組み率=12.9%〔経営改善支援先267先(期初正常先を除く)/期初債務者数2,069先(期初正常先を除く)〕

(注2) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率は、平成19年度下期に選定先の見直しを実施したため、平成19年度下期以降のランクアップ率を計上しております。平成20年度上期までに経営改善支援先267先(平成20年度上期に選定基準に基づき19先追加、期初正常先を除く)に対し35先の債務者区分がランクアップしております。

(注3) 再生計画策定率=4.1%〔中小企業再生支援協議会計画策定先数11先(期初正常先を除く)/経営改善支援先267先(期初正常先を除く)〕

(注4) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行等の先数

以上